

# 政治学概論Ⅰ

荻谷千尋

kariyach@staff.kanazawa-u.ac.jp

Winter 2025

---

## Ⅰ. 授業の目的

### 1. ねらい

本授業は、政治学に関する入門的・基礎的知識を学ぶことを目的としています。日々のニュース報道や新聞報道で見聞するように、「政治」は私たちの生活に非常に密着したものです。しかし、政治が具体的にどのような仕組み・メカニズムのもとに成り立っているかは、理解しづらく、私たちを「政治」から遠ざけるひとつの原因となっています。この授業では、政治に関わる基本概念の理解を通して、政治や政策を動かす仕組み・メカニズムについて説明します。

### 2. カリキュラム上の位置づけ

この授業は、免許法該当科目（教科に関する科目）の「政治学」に分類されている選択必修科目です。

## Ⅱ. 授業の到達目標

1. 受講生が、国民主権を中心とした公民分野の基礎的知識を得て、初学者に対してわかりやすく説明することができる。（公民）
2. 受講生が、選挙制度、政党、政治体制といった政治学の基礎的知識を得て、初学者に対してわかりやすく説明することができる。（基礎的関心）
3. 受講生が、政治学の諸概念について、自分なりの視点を加味した、関係図を作成することができる（基礎的関心）
4. 受講生が、政治学ならびに公民分野に関わる基本的な資料、文献を読みこなすことができる。（論理的思考・文献読解能力）
5. 受講生が、1 及び 2 で得た知識を背景に、日々のニュース報道や新聞報道をより深く、また相対的に理解したうえで、自分自身の意見や解釈を、確かな根拠を明示しながら、明快に記述することができる。（論理的思考・記述能力）

### III. 授業の内容および方法

1. イントロダクション：成績評価；中等教育と高等教育 \*オンデマンド配信 【SDGs 4. 質の高い教育をみんなに；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
2. 福祉国家と現代日本の課題：福祉国家；福祉政策；小熊モデル；エスピン＝アンデルセンモデル \*オンデマンド配信 【SDGs 3.すべての人に健康と福祉を；SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう】
3. 民主権と天皇制：民主権；象徴天皇；公的行為 \*オンデマンド配信 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
4. 選挙制度と政治意識：選挙制度；セイリアンス；有効性感覚；政党ラベル \*オンデマンド配信 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
5. 民主主義と全体主義（1）：リベラル・デモクラシー；全体主義；自由；責任 \*対面授 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
6. 民主主義と全体主義（2）：ジョナサン・グレイザー監督『関心領域』 \*対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
7. 政治制度と政治過程（1）：立法制度；55 年体制；ネオ 55 年体制 \*対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
8. 政治制度と政治過程（2）：フリーライダー；イシュー・セイリアンス；利益団体；利益；代表 \*対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
9. 前半のまとめ／国会中継；グループワーク；ディスカッション \*対面授業 【SDGs 4. 質の高い教育をみんなに；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
10. 行政と政官関係（1）：官僚制；階統制；レッド・テープ；最大動員モデル \*対面授 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
11. 行政と政官関係（2）：政官関係；官僚の類型 \*対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
12. 地方自治（1）：中央地方関係；自治事務；法定受託事務 \*対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
13. 地方自治（2）：地方政府；三割自治論；平成の大合併 \*対面授業 【SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】
14. 後半のまとめ／ディスカッション \*対面授業 【SDGs 4. 質の高い教育をみんなに；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に】

## IV. 授業の進め方

### 1. スケジュール

初回から第4回目までの授業はオンデマンド配信にて実施します（初回・第2回は12月、第3回・第4回は1月を予定）。それ以降の授業は対面で実施いたします（2026年2月2日（月）から6日（金）を予定）。

### 2. 講義の進め方

- ・ 授業はスライド資料を用いておこないます（資料は、このウェブサイトを通して配布します）
- ・ 授業は、受講生の理解度や関心を確認しながら進められます。そのため、受講生は、各単元に関連する指定文献を事前に読み、それについての感想、疑問などを書くことが求められます（リーディング・アサインメント）。また、授業の感想を簡単に書いてもらいます。回収したこれらの感想、意見のうち、重要なもの、代表的なものを紹介しながら、授業を進めます。すべての回答は一覧表にして配布します。
- ・ 詳しくは**予習・復習に関する指示**を参照下さい。

## V. 授業キーワード

- ・ 福祉国家
- ・ 国民主権
- ・ 選挙制度
- ・ 政治制度
- ・ 政治過程
- ・ 政官関係
- ・ 地方自治

## VI. テキスト・参考書

### 1. テキスト

- ・ 使用しません

### 2. 参考書

- ・ 授業中に適宜紹介します

### 3. その他授業資料等

- ・ レジюме、スライド資料などの授業資料は、特設ウェブサイト（<https://kariyach.github.io/teaching/Politics1/index.html>）を通して配布します。リーディング・アサインメントで用いる著作権のある文献については **Moodle** にアップロードいたします。

## VII. 成績評価の方法およびその基準

Assignment	Percentage
リーディング・アサインメント	30%
授業の感想	30%
レポート（2 種）	30%
ディスカッション	10%

### ! 重要

- ・ 授業には 3 分の 2 以上の出席を必要とします
- ・ 評価基準は、授業の到達目標に準じます

## 予習・復習に関する指示

### (1) 予習：リーディング・アサインメント

- ・ ほぼ毎回の授業において、内容にかかわる文献を事前に読み、感想や質問を書いて提出して下さい
- ・ 文献の分量は内容によって差はありますが、1 時間くらい時間を書けて欲しいと思っています
- ・ 文献、提出先、締め切りについては、特設サイト [ホームページ](#) からご確認ください

### (2) 復習：授業の感想と授業アンケート

- ・ 授業内容に関する感想を提出してください
- ・ オンデマンド授業は毎回、対面授業の場合は、一日に 1 回とします
- ・ 30 分くらい復習の時間を取って欲しいと思います
- ・ 文献、提出先、締め切りについては、特設サイト [ホームページ](#) からご確認ください

## VIII. 履修上の指導

- ・ 受講に当たり予備知識は必要としませんが、日々のメディア報道など、政治的トピックに関心をもつ人の参加を歓迎します。

## IX. オフィスアワー

- ・ 授業の前後以外に、質問・連絡が必要な場合は、調整担当の諸岡先生にご連絡ください。

## X. その他

- ・ 11 月中に具体的な授業スケジュールを [Moodle](#) を通して連絡しますので、必ず確認してください。また、この授業に関わる特設ウェブサイトのリンクもご案内します（補足・<https://kariyach.github.io/teaching/Politics1/index.html> です）。Moodle は基本的な連絡事項を伝えるためにのみ用います。オンライン配信の URL などの情報はすべて特設サイトに集約しますので、お気をつけ下さい。
- ・ ＊4 年生の受講希望者は、あらかじめ調整役の諸岡先生までご相談をしてください。相談がない場合は受講できない場合があります。